うっそうとした森の奥深く進んでいくと急に道が開け滝の音が聞こえてきました。

さらに音の方へ行くと天から水が降り注いできてるような大きな滝が見えました。

「この滝を抜けると洞窟があるのね。」マヤがつぶやきました。

激しく落ちる水の向こうに黒いぽっかりとした穴が揺れています。



「私達、蝶は水の中には入れません。ケン、マヤ洞窟の中に行ってもらえませんか?」

エルムはそう言い、続けて人間に戻る方法を説明します。

「この滝をくぐるには二人が心を合わせて一気に水の中に入る事です。滝をくぐった

とき 時あなた達は人間に戻ることが出来ます。ただし、気を付けて!二人のタイミングが少

しでもずれると蝶の姿のまま滝壺に落ちてしまいます。」

ケンとマヤはエルムや他の蝶達が見守る中,滝に向かい飛んで行きます。

「マヤ,^{ヒゅんび} はいい?」「うん」

と声を掛け合うと思いきり息を吸い滝の向こうに消えて行きました。

たき 滝をくぐるとそこはやっとお互いの輪郭が分かる 位 の薄暗い穴でした。二人は人間の

ずがた もど 姿 に戻っていました。

「暗いよ~【友情の花】, どこにあるのかしら...。」

マヤは不安そうです。

「どうやら一本道のようだからまっすぐ進んでみよう。」

ケンはグングン^{チャタ}みます。